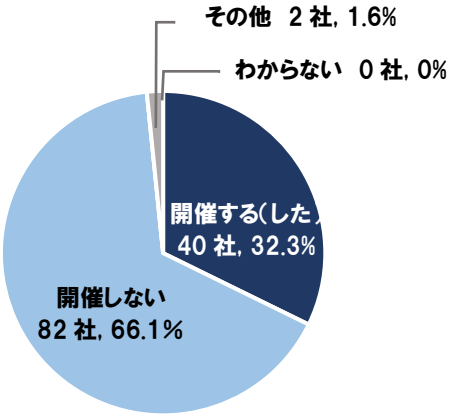
付帯調査

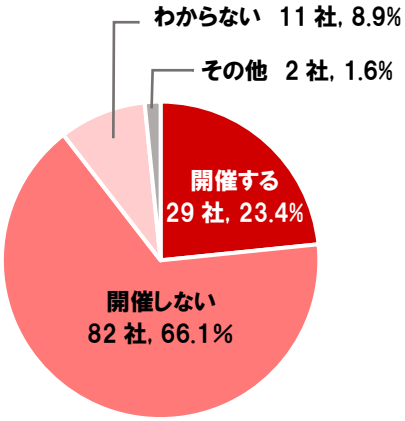
忘年会・新年会に関する調査

昨年５月に新型コロナウイルス感染症が５類に移行してから初めての年末年始を迎えました。本調査は２０２３年１月に行った調査に続き、市内事業者へ「忘年会・新年会」に関する調査をインターネット（Google Forms）、FAX により実施しました。【２０２４年１月、回答１２４社】

■Q1.貴事業所の忘年会・新年会の開催について



【忘年会】



【新年会】

忘年会・新年会の開催状況をたずねたところ、忘年会を「開催する（した）」は、４０社（３２．３％）、新年会は、２９社（２３．４％）で、前年度と比較すると忘年会が２６．１ポイント増［前年６.２％、（９７社中、６社）］、新年会が１２．１ポイント増［前年１１．3%（９７社中、１１社）］となり「コロナ以来３年ぶりの開催」という回答がありました。

続いて「開催しない」は、忘・新年会ともに８２社（６６．１％）となりました。

「わからない」と回答したのは、新年会が１１社（８．９％）となり、「その他」では、「年末は繁忙期のため違う時期に開催している」、「手土産を渡す」といった回答がありました。

「開催する（した）」と回答した事業者のうち、忘・新年会両方とも開催する（した）と回答した事業者は１３社（１０．５％）［前年４．１％（９７社中、４社）］で、全体で忘・新年会いずれか一つでも開催した事業所は５６社（４５．２％）と、前年と比べ３１．８ポイント増加しました［前年１３．４％（９７社中、１３社）］。

■Q2.忘年会・新年会の開催方法について

【開催方法について】

	忘年会(前年%)	新年会(前年%)
会社全体で開催する(した)	30社、75.0%（33.3%）	22社、75.9%（72.7%）
店舗･部署･班単位で開催する(した)	10社、25.0%（50.0%）	7社、24.1%（27.3%）
その他	０社、0%（16.7%）	０社、0%（0%）

※開催した(する)とした企業に対する割合

忘年会を「開催する（した)」は４０社、新年会では２９社あり、その開催方法では「会社全体で開催する（した)」は、忘年会が３０社（７５．０%)、新年会が２２社（７５．９%）となりました。また、「店舗・部署・班単位で開催する（した)」は、忘年会が１０社（２５．０%)、新年会が７社（２４．１%）となり、前年調査と比べ、「会社全体で開催する（した)」企業が増えました。

■Q3.これまでの忘年会・新年会の開催について

【これまでの開催について】

	忘年会	新年会
コロナ禍以前は開催していた	52社、63.4%	64社、78.0%
コロナ禍以前から開催していなかった	26社、31.7%	15社、18.3%
その他	4社、4.9%	3社、3.7%

※開催しないとした企業に対する割合

忘年会、新年会を「実施しない」と８２社（忘・新年会同）回答があり、その内「コロナ禍以前は開催していた」は、忘年会が５２社（６３．４%)、新年会が６４社（７８．０%)。「コロナ禍以前から開催していなかった」は、忘年会が２６社（３１．７%)、新年会が１５社（１８．３%）となりました。５類移行後も「インフルエンザ・コロナ等の感染症の懸念があるため」や「若い従業員が飲みの場を求めていない」などの理由で開催を見合わせていると回答した企業も多く、さらに「資金不足」や「従業員がそろわない」「手当てとして活かした」とする理由もありました。

忘年会・新年会に関する記載事項

忘・新年会について「開催する」ことで期待することや、忘・新年会どちらも「開催しない」事業所はその理由・意見など。

① 忘・新年会を開催する目的等

○仕事では得られないコミュニケーションを図る（他８件）
○普段仕事上とは違い飲食をしながら環境を変えることにより、仕事上とは違った視点でコミュニケーションが図れるのでは、という点を期待している。（他１件）
○飲みにケーションは必要
○親睦を深め、一丸となってエネルギー、物価高騰の影響を乗り越えたい。
○社員の士気を高める（他１件）
○全社員が同じ方向性を持って活動するため
○会社の一体感を醸成する
○１０月に会社がグループ会社の一員となり、一体感を保つために忘年会・新年会を開催
○開催はするが、出席については「希望者だけ」を強調し実施する。
○コロナ以来３年ぶりの開催なので、新鮮な気持ちで社内親睦が図れた。
○互助会行事として開催。従業員間の親睦や１年の労いのため。（他１件）
○社員、スタッフのストレス解消等を目的としています。飲食業のお客様への協力も前提として開催しています。
○飲食業界への協力と社内の親睦
○これまで忘・新年会両方開催していたがコロナで外出が減ったことに慣れてしまったこと、また感染リスク低減の理由もあるためどちらか一方のみを開催すると判断した。

② 忘・新年会を開催しない理由

○コロナやインフルエンザ対策（他５件）
○コロナがまだ完全に収束に至っていないため
○感染症のリスクから従業員の安全を最優先に考え中止としている。
○忘年会時期は繁忙期のため開催はしていない。新年会については全員が揃う事は難しく、また強制もできないので開催はしていない。夏の繁忙期が終わった時に慰労会のようなものは開催している。
○定休日がなく勤務がシフト制の為、人も揃わず時間的余裕もないため実施せず（他１件）
○地方から通っている社員もおり、全員そろわないため
○従業員、派遣スタッフを含め子供のいる家庭持ちであるため（他１件）
○開催しない分は、手当てにしている。
○現在、妻と二人三脚で営業している状態なので開催する必要性が無い。
○業務多忙により時間が取れないため開催せず
○従業員も少ないので開催する必要もない。（他２件）
○若い従業員は飲み会の場を求めていない
○懇親会を楽しみにしていない従業員が多いため
○必要性を感じない。経費削減。
○赤字であるため。